

さて、そもそも黄泉の世界とは？

国生みの夫婦神、伊邪那岐（イザナギ）命と伊邪那美（イザナミ）命の物語。

2柱の神は国造りのため多くの神々を誕生させますが、女神であるイザナミは最後に火の神加具土命を産んで命を落とします。

イザナギは亡くなったイザナミに会うため、黄泉の国を訪ねました。

愛する妻は黄泉の国の御殿に居ましたが、腐乱して全身にうじがたかったその姿を見たイザナギは、驚いて逃げ帰ろうとします。

恥をかかされたと怒ったイザナミは、黄泉醜女や八雷神・黄泉軍を差し向けますが、やっとの思いで黄泉比良坂（よもつひらさか）を千引の岩で塞いで黄泉国（よもつくに）と現世国（うつしくに）の結界としました。

これにより後、死者の世界生者の世界は、交わることはなくなりました。